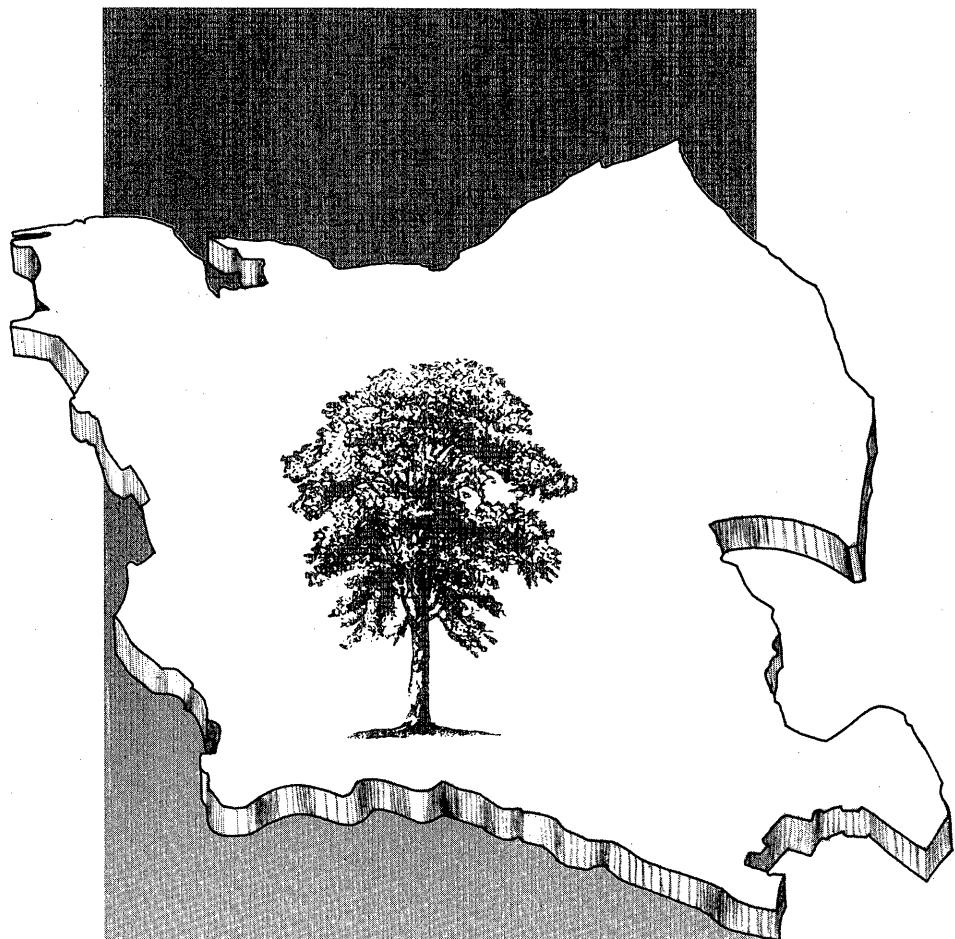


昭和57年 人口編



世田谷区

人 口 編 正 誤 表

頁	表	表頭	表側	誤	正
12	4	25 歳 ~ 29 歳 総 数	総 数	68,777	68,774
〃	〃	24	〃	15,976	15,956
30	〃	5 歳 ~ 9 歳 総 数	尾山台 3 丁目	146	149
39	〃	90	等々力 8 丁目	3	1
44	〃	47	桜新町 2 丁目	31	39
50	〃	0	北烏山 3 丁目	41	40
65	7	昭和 55 年 世帯数	桜上水 2 丁目	775	779
67	〃	昭和 58 年 人口	船橋 7 丁目	4,276	4,275
68	〃	昭和 57 年 人口	北烏山 4 丁目	1,748	1,738
〃	〃	昭和 58 年 人口	喜多見 4 丁目	1,603	1,602
72	9	総数 社会動態 転入	駒沢 2 丁目	776	770
73	〃	女 増 減	赤堤 4 丁目	13	△ 13
〃	〃	〃 〃	桜上水 2 丁目	△ 10	10
74	〃	男 〃	上用賀 3 丁目	27	72

ま　え　が　き

この統計書は世田谷区の人口に関する基礎的統計資料を収録し、区勢の現況と推移を紹介するものです。

今日、社会の多様化に伴い、統計に対する需要と期待は国から地方へと移行し、さらに「くらし」全体にわたるきめ細かい統計が要望されています。編集にあたっては、この点を考慮し、出来るかぎり最新の資料を取り入れ、内容の充実につとめました。本書がヒューマン都市世田谷の町づくりと区民生活向上のために、各種行政施策の参考となり、また広く区民各位、企業、学校等にご活用いただければ幸いです。まだまだ不充分な点も多いことと思いますが、今後とも利用者各位のご指導とご助言を得て、より一層の充実をはかってゆきたいと思います。

なお、財政、社会福祉、教育など他の分野に関する統計資料については別冊の「総合編」をご利用下さい。

最後に、本書の編集にあたり資料の提供に格別のご協力をいただきました関係各位に心から感謝いたします。

昭和58年3月

東京都世田谷区長

大　場　啓　二

凡　　例

§ 資料　　本書は関係官公庁の提供による資料と当区各部課の調査収集した資料からなり、その出所については脚注に掲げた。当区分の住民基本台帳による各表については外国人を含んでいない。外国人登録者数は別に掲げた。

§ 時　　昭和58年の資料を主として収集した。「一年」とあるのは、暦年（1月から12月まで）、「一年一月一日」とあるのは、その調査日現在を示す。

§ 地域　　特にことわりのないかぎり世田谷区を区域とするものであるが、必要に応じて東京都等の資料を掲載した。

§ 数字のまとめ方

数字が単位に満たないものは四捨五入を原則としたので、総数と内訳の合計が一致しない場合もありうる。

§ 符号の用法

「—」；皆無または該当数字なし

「…」；資料なし（不詳、途中で分類の変わったものも含む）

「0」；単位未満

「△」；減少

§ 脚注　　特に説明を要する個々の事項または調査方法、計算方法等については、脚注として記載した。

§ 本書の資料についての照会は

東京都世田谷区区民部区民課統計調査係まで

電話 412-1111 内線 683~685

統 計 表 目 次

住民基本台帳による人口

第1表 人口の推移	3
第2表 東京都の世帯および人口	4
第3表 町丁別世帯および人口	5
第4表 町丁・年齢別人口	10
第5表 年齢・男女別人口	60
第6表 年齢（5歳階級）別人口の推移	62
第7表 町丁・年次別世帯および人口	64
第8表 外国人登録者数	69
第9表 町丁別人口動態	70
第10表 人口動態の推移	80
第11表 前住地別転入者数	81

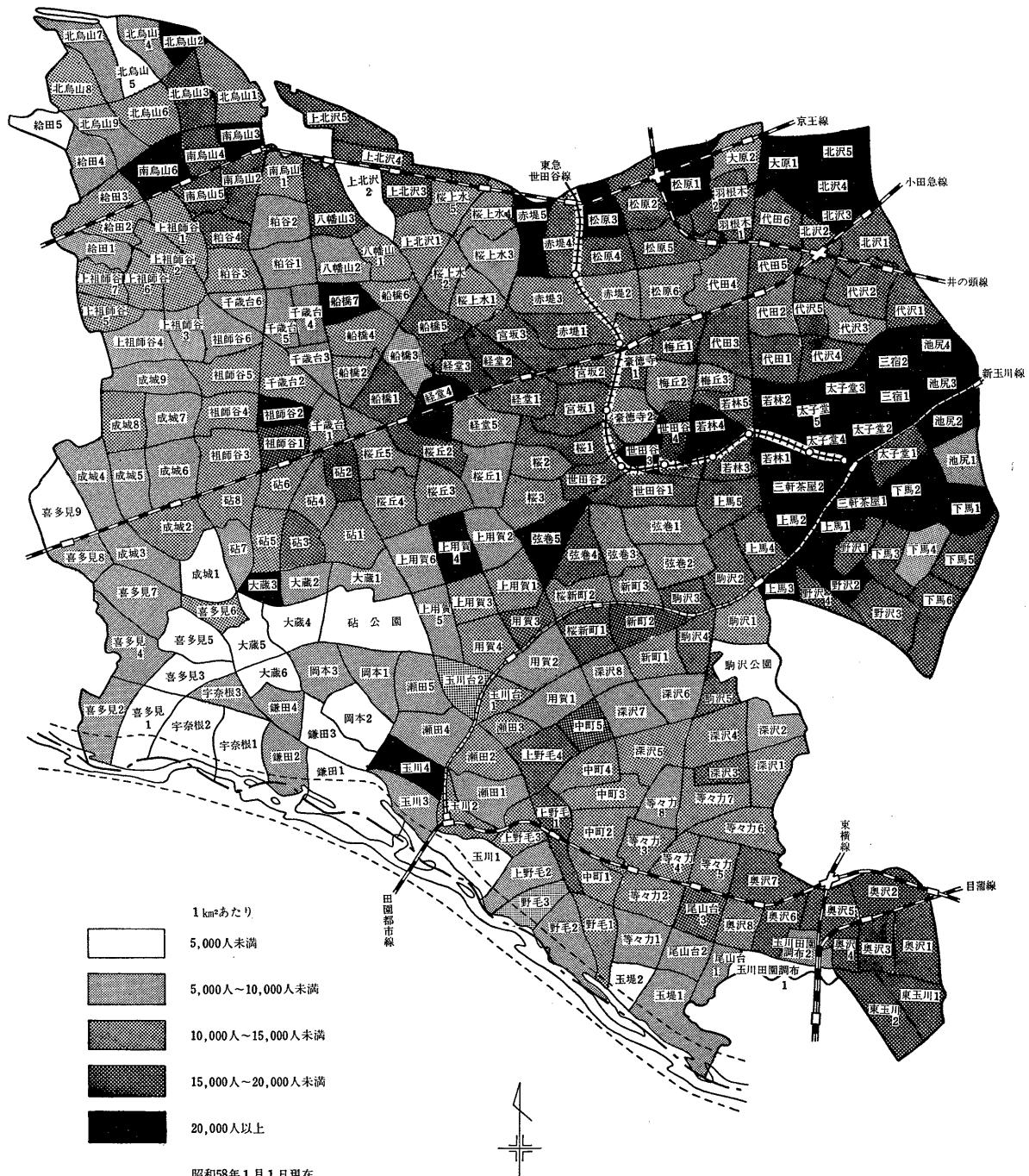
国勢調査

第12表 人口の推移	82
第13表 年齢（5歳階級別）人口の推移	82
第14表 東京都地域別人口の推移	84

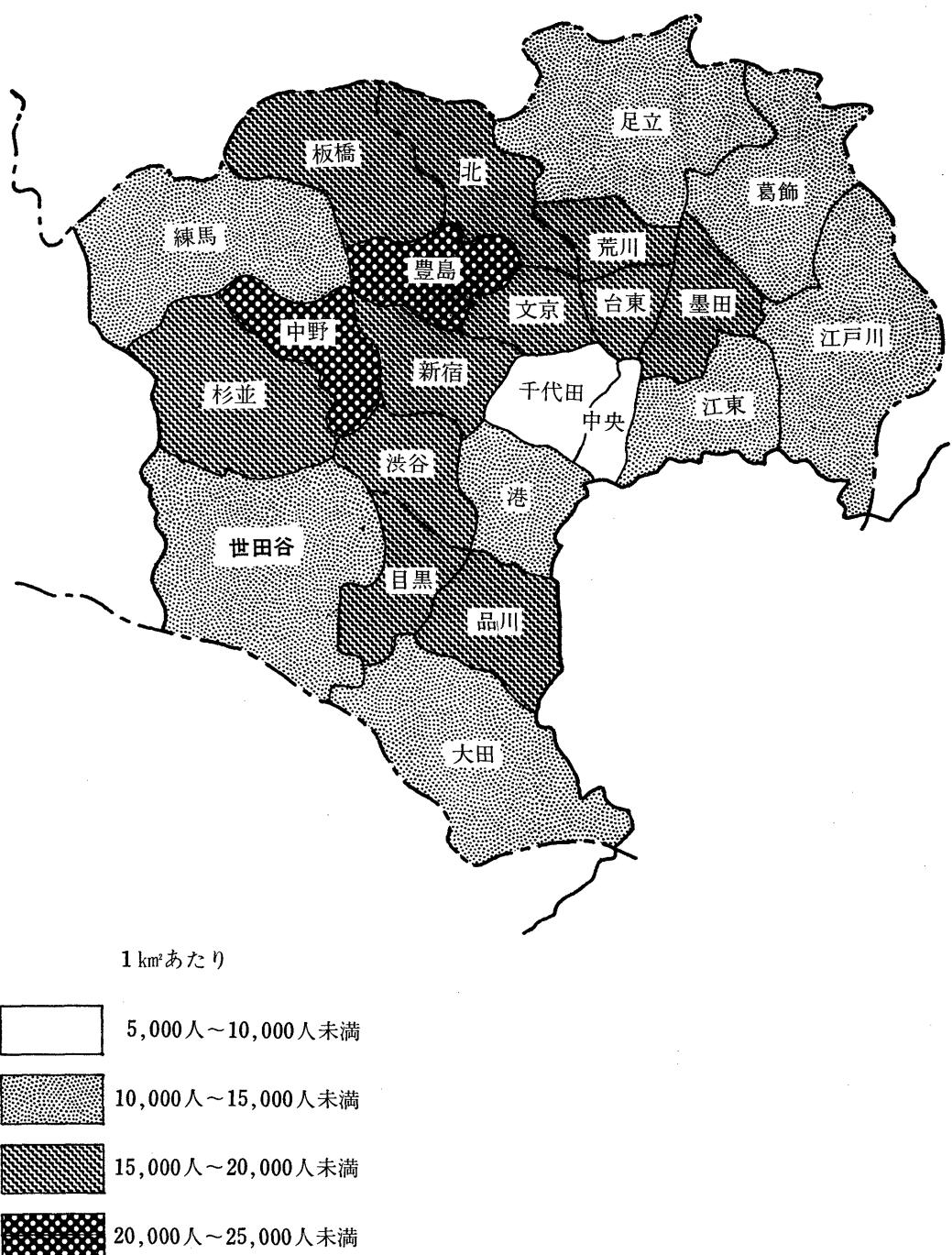
統 計 図 表 目 次

第1図 世田谷区人口密度分布	1
第2図 23区人口密度分布	2
第3図 年齢・男女別人口	61
第4図 年齢別（0～14歳）人口の推移	62
第5図 年齢別（65歳以上）人口の推移	63
第6図 人口動態の推移	80

第1図 世田谷区人口密度分布



第2図 23区人口密度分布



昭和58年1月1日現在